

## 大阪港BCP情報伝達訓練アンケート結果と対応

Q1 今回、訓練用に作成した「港湾BCP情報連絡シート(大阪港湾局共通様式)」に改善点(内容・施設被害の報告欄等)はありますか。

- |             |   |    |          |
|-------------|---|----|----------|
| 1. 今のままでよい。 | 9 | 機関 | ( 100% ) |
| 2. 改善して欲しい。 | 0 | 機関 | ( 0% )   |

⇒「施設・機材の被災状況」欄については、必要な情報を的確に把握するため、事務局において構成員毎に報告が必要な施設・機材を記載した修正案を作成し、後日確認して頂く予定。

Q2 訓練にてどの通信手段を利用しましたか。 以降 全9機関(大阪市除く)

- |           |   |    |
|-----------|---|----|
| 1.メール     | 7 | 機関 |
| 2.FAX     | 1 | 機関 |
| 3.電話      | 0 | 機関 |
| 4. web171 | 1 | 機関 |
| 5.MCA無線   | 0 | 機関 |
| 6.防災行政無線  | 0 | 機関 |
| 7.衛星電話    | 0 | 機関 |

Q2-1 Q2にて回答した通信手段を利用した理由は何ですか。

- |                      |   |    |
|----------------------|---|----|
| 1 使い慣れているから          | 4 | 機関 |
| 2 休日発災時に利用する可能性が高いから | 5 | 機関 |
| 3 その他                | 0 | 機関 |

Q2-2 Q2にて回答した通信手段を使用するうえで、困った点・改善が必要な点等があればご記入ください  
意見内容

意見1	休日想定の場合、FAX は確認できないのでe-Mail 若しくはweb171 が主となるが地震でデータ通信が不通ないしは混雑した場合を想定し、電話連絡のみとする訓練もしてはどうか。
意見2	夜間、休日の緊急時に携帯電話を使うことを想定したが、もし私物の携帯電話を使うとなったら抵抗がある人もいるのではないかと。

⇒ 意見1について、音声通信の中でもMCA無線・防災行政無線・衛星電話は、災害時でも利用できる可能性が高いため、今後の訓練にて積極的に活用することを検討する。  
電話回線(NTT固定電話・携帯電話の音声通信)は、過去の災害時に通信の輻輳により利用出来なかったが、データ通信は利用できた状況を踏まえると、MCA無線・防災行政無線・衛星電話を所有していない構成員様においては、e-Mailやweb171の積極的活用を促す。

Q3 第2部において実施したweb会議についてお聞きします。通常時の業務においてweb会議を利用していますか。

- |           |   |    |                     |
|-----------|---|----|---------------------|
| 1 利用している  | 8 | 機関 | ( 80% ) ※月1～5回と回答あり |
| 2 利用していない | 1 | 機関 | ( 20% )             |

Q3-1 web会議に参加するうえで困った点・改善した方がよい点があればご記入ください

意見1	特にありません。 (コロナ以降、慣れてきたからと思います)
意見2	WEB会議する際に使用するパソコンや環境によっては初期動作に時間を要し、接続に時間を要す場合がある。

⇒ 各機関、web会議の習熟度が向上している。

Q4 訓練全体を通して改善点はありますか。(訓練の内容、実施方法等について、改善した方がよい点・お気づきありましたら、御教示下さい。)

意見内容

意見1	震災状況の情報共有や48時間後の緊急運営岸壁の確定に加え、海上、水上面での航行安全情報の共有があればと考える。震災による海上浮遊物や(コンテナや角材、転覆した漁船、浮遊している灯浮標など)や海中沈没物(沈船、がれき、コンテナなど)の有無、航路管理業務の状況(PortRadioの運営状況、航路信号、灯台、灯浮標の不点灯、不作動など)など。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⇒ 48時間後のweb会議で共有する情報内容については、頂いたご意見を参考に今後検討する。

Q5 本日、web地理院地図による被災状況の共有は行いませんでしたが、何かご意見等ございましたらご記入下さい。

意見内容

意見1	湾岸エリアの被災状況、道路の通行可否の確認あるいは緊急物資輸送のため優先通行させるための一般通行禁止区域などがビジュアルで容易に確認でき非常に有効と考える。弊会のような業界団体において参加企業に情報を一括して共有するのに、文書ではなく、ビジュアルで容易に状況を共有できるのは、非常に便利である。
意見2	被災状況の把握に有効と思われるが、入力作業が煩雑で時間を要するので対象施設が多い現場で緊急の対応は厳しい。

⇒ 地図での情報共有自体は有効であるものの、web地理院地図での作業は煩雑であるため、web地理院地図以外の地図データを用いた情報共有について今後検討する。

Q6 今後の訓練及び事務局に向けたご意見・ご要望がございましたら、お教えてください。

意見内容

意見1	本日の訓練で、第2部のweb会議による情報伝達訓練においては、各機関の状況報告の内容が視覚的に共有され、非常に良かったと思います。
意見2	災害時のネット環境にもよるであろうが、WEB会議は有効な情報共有手段であると感じた。
意見3	訓練を継続し、より一層リアルな対応に近づけるようお願いいたします。

⇒ web会議は有効な情報共有手段であるため、連絡手段の1つとして位置付ける。訓練内容のリアリティについては、今後より高められるよう、想定される災害シチュエーションに応じて情報共有の手段・内容・頻度や、対応者等を柔軟に変化させることも今後検討する。